



2019年9月19日

各 位

会社名 株式会社ウィルグループ  
 代表者名 代表取締役会長 池田良介  
 (コード番号: 6089)  
 問合せ先 執行役員 高山智史  
 管理本部長  
 (TEL. 03-6859-8880)

## 2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の連結業績予想の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,000	1,400	1,400	800	650	29.23
今回修正予想(B)	61,000	2,100	2,100	1,300	1,100	49.45
増減額(B-A)	+3,000	+700	+700	+500	+450	
増減率(%)	+5.2%	+50.0%	+50.0%	+62.5%	+69.2%	
(参考)前期第2四半期実績※ (2019年3月期第2四半期)	48,470	1,279	1,255	805	698	31.57

※2019年3月期よりIFRSを任意適用しており、2019年3月期第2四半期実績はIFRSを適用した数値であります。  
 なお、当該数値は、監査前数値であり今後変更になる可能性があります。

#### 2. 業績予想の修正理由

売上収益につきましては、主要3事業であるセールスアウトソーシング事業、コールセンターアウトソーシング事業、ファクトリーアウトソーシング事業、注力3事業である介護ビジネス支援事業、海外HR事業、スタートアップ人材支援事業が好調に推移したことにより、当初の予想を上回る見込みとなりました。

営業利益、税引前利益につきましては、売上収益の増加、主要3事業の利益率が改善したことに加え、当初第1四半期に予定していた連結子会社の取得原価の配分見直し(のれんの見直し)時期の変更等により、当初の予想を上回る見込みとなりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、税引前利益の増加等により当初の予想を上回る見込みとなりました。

### 3. 通期連結業績予想について

売上収益につきましては、ファクトリーアウトソーシング事業における食品関連以外の分野でのクライアントの生産調整による受注減等、国内における事業の先行きを保守的に想定しています。

営業利益につきましては、上記に加え、連結子会社の取得原価の配分見直しを下期に予定していること、介護ビジネス支援事業、HRTech 分野における人材採用等の積極投資、新規事業領域において赤字事業の見直しを検討しており、販売費及び一般管理費の増加を見込んでいることから、通期業績予想については、2019年5月13日に発表いたしました連結業績予想を据え置きます。

今後修正の必要が発生した場合は速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上